

# 「スマートシティの財政面からの持続性確保」分科会

## 分科会提案者：有限責任監査法人トーマツ

**参加メンバー：自治体4団体、民間17団体、合計21団体**

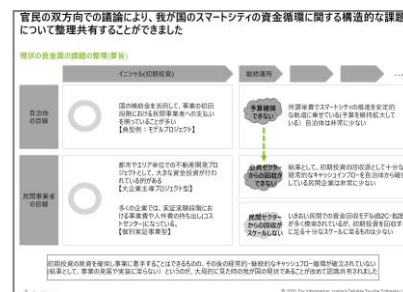
**【メンバー】**  
 (五十音順・敬称略)  
**自治体**：鎌倉市、さいたま市、四條畷市、富山市  
**民間企業**：NECキャピタルソリューション(株)、NTT東日本(株)、京セラ(株)、(株)JTБ、シスコシステムズ(合)、清水建設(株)、住友商事(株)、東京海上日動火災保険(株)、(株)電通、日本電気(株)、富士通(株)、(株)三菱UFJ銀行、  
**民間団体**：(一社)大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会、大村データプラットフォームコンソーシアム、仙台市泉区における先進取組協議会、(一社)データ流通推進協議会、(特非)日本PFI・PPP協会

### 分科会での活動概要

2020年 1月	アンケート調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>プラットフォーム参加469団体に送付、90団体より回答を受領</li> <li>企業・大学研究機関等、地方公共団体、コンソーシアム・協議会、の3パターンにて実施</li> <li>収益モデル、推進組織設計、公共セクターへの期待、事業化に向けての課題認識等を調査</li> </ul>
2020年 1月	個別インタビュー (第1回)	<ul style="list-style-type: none"> <li>事務局から分科会参加団体にインタビューを実施(面会ないし電話)                  &gt; 15団体に対し実施</li> <li>各団体の課題認識について、幅広く意見を聴取</li> </ul>
2020年 1月17日	意見交換会 (第1回)	<ul style="list-style-type: none"> <li>デロイト・トーマツグループのセミナーームにて実施(2時間)                  &gt; 23団体が参加(オブザーバ・主催者含む)</li> <li>スマートシティの創出価値、受益者、検討の時間軸、などファイナンスに関連する幅広い論点を討議。各団体の基本的な課題認識について相互に共有。</li> </ul>
コロナ禍による活動休止		
2020年 8月	個別インタビュー (第2回)	<ul style="list-style-type: none"> <li>事務局から分科会参加団体にインタビューを実施(ウェブ会議)                  &gt; 9団体に対し実施</li> <li>本中間報告書の要旨を提示し、意見を聴取</li> </ul>
2020年 8月24日	意見交換会 (第2回)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ウェブ会議にて開催。(2時間)                  &gt; 22団体が参加(オブザーバ・主催者含む)</li> <li>本中間報告書の素案を提示。特に公共セクターが果たすべき役割への期待や課題にフォーカスして意見交換を実施。</li> </ul>

### 分科会の活動成果(成果報告書より抜粋)

- ①我が国のスマートシティの資金循環に関する、官民の課題認識を整理
- ②新たな政策や制度を通じた解決の方向性について整理



### 今後の課題・展望

新たな政策や制度の提言の具体化を進めていく予定です